

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

創造 貢献を軸に、独自の強みを活かし時代の変化に合わせて新しい文化を創造し世の中の役に立ち続ける

2 中長期の経営戦略

1. 収益基盤強化とイノベーション創造

2024年3月期から2026年3月期の3ヶ年中期経営計画で、前半は構造改革と基盤づくり、後半は成長軌道への転換を目指す

2. 時計事業の成長強化

G-SHOCKのメタルラインを中心に中・高価格帯を拡大、新デザイン創出と直営店・直販EC拡大で収益力向上

3. EdTech事業の新規ユーザー獲得

関数電卓でソフト・ハード両面の商品開発と学販活動強化により新規ユーザー獲得と事業収益力強化

4. サウンド事業の体質強化

構造改革の推進と高付加価値ジャンルのブランド認知拡大で事業体質強化と収益性向上

3 対処すべき課題

① サステナビリティ経営の推進

- ・ バイオマスプラスチックを使用したG-SHOCKの開発・製造・販売
- ・ 脱炭素2050年実質ゼロに向け再生可能エネルギーへの切り替え推進
- ・ 人的資本経営強化とマテリアリティ見直し

② ガバナンス機能の強化

- ・ 2025年6月27日後の取締役会で社外取締役比率50%、女性取締役比率25%達成
- ・ 取締役会実効性向上と経営監視機能強化
- ・ 健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成

③ ITセキュリティ対策強化

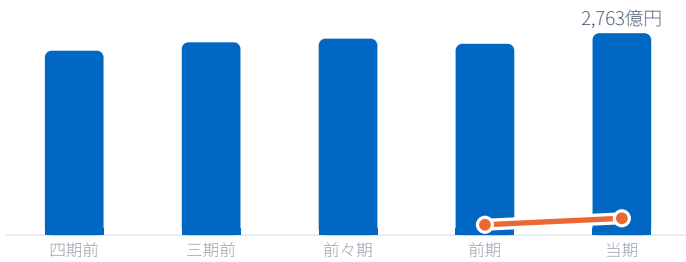
- ・ 2024年10月のランサムウェア攻撃からの再発防止
- ・ グループ全体のITセキュリティ継続的実施と情報管理体制見直し
- ・ 社内教育強化によるルール徹底

面接で使えるポイント

- ・ 2026年3月期を変革・イノベーション創造期と位置付け、コア事業の再成長と新規事業創出に取り組む
- ・ G-SHOCKのバイオマスプラスチック活用と脱炭素2050年実質ゼロの環境課題への実践的対応
- ・ 社外取締役比率50%、女性取締役比率25%の達成を通じた多様性あるガバナンス体制の構築

証券コード 6952

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,763億円営業利益率
8.4%財務健康度
53点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 61.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
838万円

電気機器内 47位/225社

平均年齢
44.6歳

電気機器内 72位/225社

平均勤続
15.7年

電気機器内 122位/225社

女性管理職
8.3%

電気機器内 47位/182社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: カシオ計算機[6952]：譲渡制限付株式報酬としての自己株式

